

1 調査名称：H24年度 品川駅周辺交通基盤整備計画策定調査

2 調査主体：東京都

3 調査圏域：東京都市圏

4 調査期間：平成21年度～平成25年度

5 調査費： 14,385千円（当年度までの合計：53,823千円）
（総合都市交通体系調査）

6 調査概要：

品川駅周辺地域は、羽田空港へのアクセスの良さや東海道新幹線の品川駅開業により、交通利便性が大変高い地域となっている。品川駅西側に集積する大規模なホテル群の立地も相まって、地域のポテンシャルが高まっているほか、大規模な低・未利用地も存在し、今後、相当規模の開発が見込まれている。さらに、羽田空港の国際化が進めば、アジアのみならず、欧州などとのアクセスが飛躍的に向上し、国内外の玄関口として一層の発展が期待される。

本調査は、このような状況の中、「品川駅・田町駅周辺まちづくりガイドライン（平成19年11月 東京都）」で打ち出した、東西分断を解消する道路ネットワークの整備、広域アクセス拠点にふさわしい結節点づくり、地区内のモビリティ強化など東京サウスゲートの形成を実現するため、「基盤整備計画」を策定するものである。

I 調査概要

1 調査名

H24 年度 品川駅周辺交通基盤整備計画策定調査

2 報告書目次

序 調査の目的

I. 品川駅周辺における基盤整備計画案の検証

II. 事業推進活動支援

III. イメージパースの作成

IV. 事業化方策の検討

3 調査体制

品川駅周辺基盤整備・まちづくり検討委員会

(座長：(財)計量計画研究所代表理事)

品川駅周辺基盤整備・まちづくり検討委員会 事務局

東京都都市整備局都市基盤部街路計画課・交通企画課ほか

II 調査成果

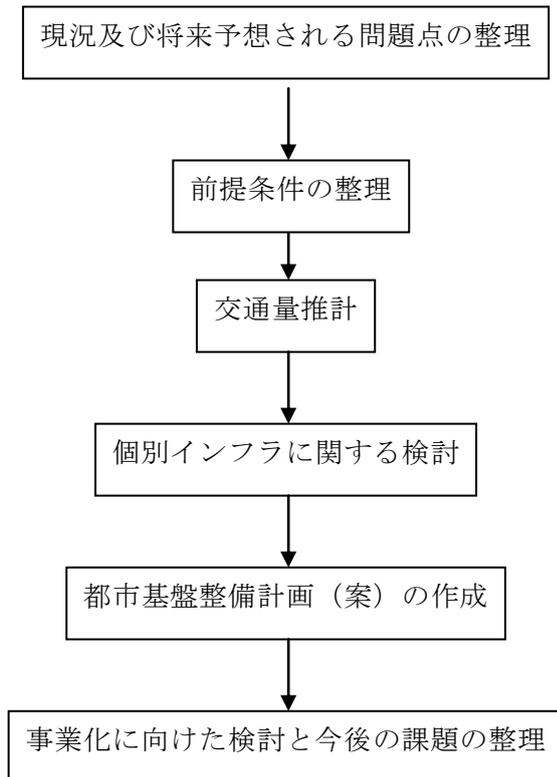
1 調査目的

品川駅周辺は、国内外の玄関口として一層の発展が期待されており、鉄道施設の再編整備、西口駅前の広場整備、更に環状4号線や東西連絡道路の整備など、都市基盤を一層充実させる必要がある。

このことから、「平成23年度 品川駅周辺交通基盤整備計画策定調査(平成24年3月東京都)」(以下、「平成23年度調査」という。)においては、「品川駅・田町駅周辺まちづくりガイドライン(平成19年11月東京都)」(以下、「ガイドライン」という。)で打ち出した基盤整備の方向性に基づき、周辺の開発動向も踏まえ、「品川駅周辺基盤整備計画(素案)」を作成した。

本年度は、平成23年度調査内容および関係機関との調整状況を踏まえ、行政や鉄道事業者等からなる「品川駅周辺基盤整備・まちづくり検討委員会」において検討を行い、「品川駅周辺基盤整備計画(素案)」を更に深度化し、「品川駅周辺基盤整備計画(案)」の作成を目的とした。

2 調査フロー



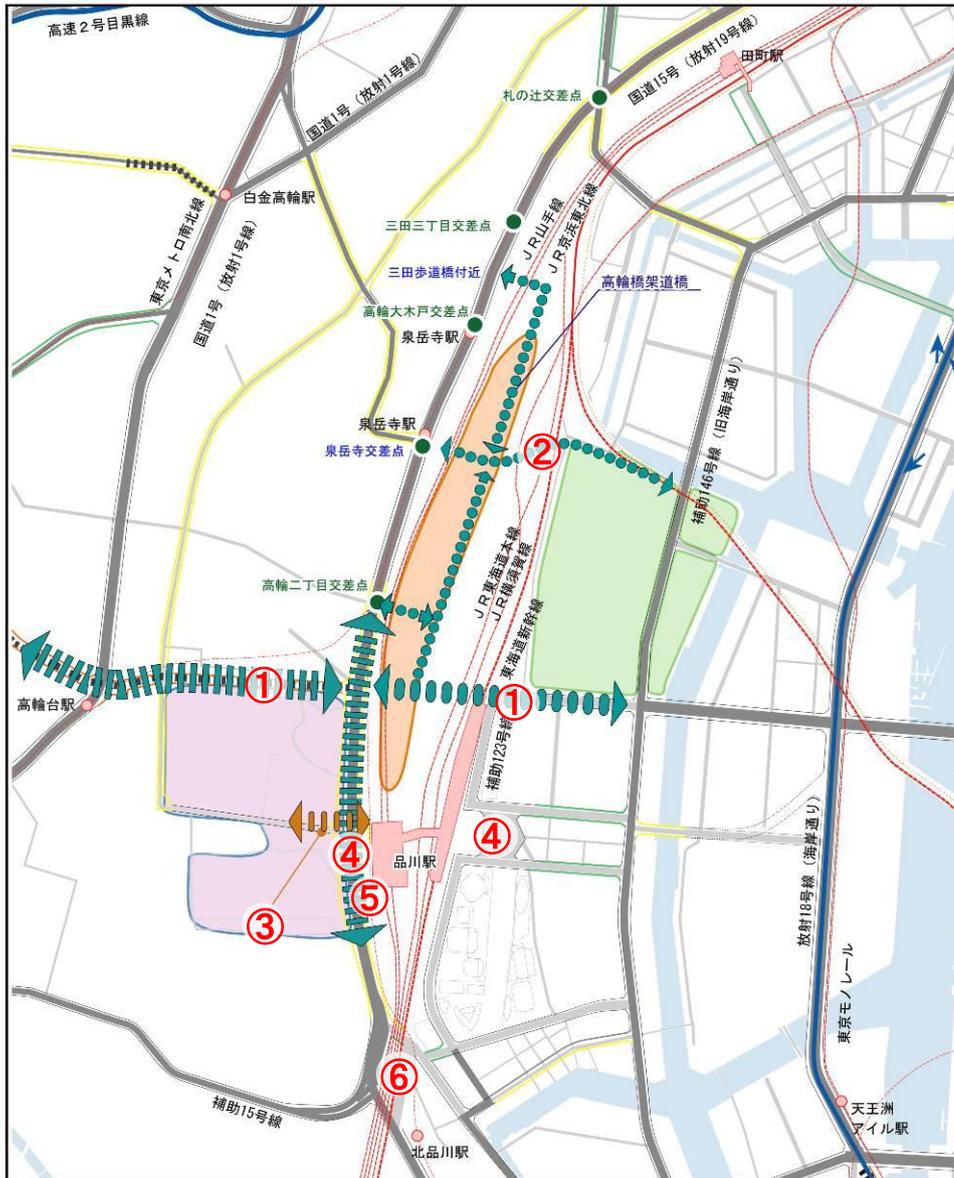
3 調査圏域図



4 調査成果

○ 検討対象

本調査は、品川駅周辺を対象とし、以下の基盤施設をはじめとする関連施設を対象とした。



- ① 環状4号線・東西連絡道路
- ② 第二東西連絡道路
- ③ 自由通路
- ④ 駅前広場
- ⑤ JR・京急品川駅再編整備
- ⑥ 京急品川第1(八ツ山橋)踏切他2箇所

○基盤整備の目的

	整備目的
環状4号線・東西連絡道路	<p>【環状4号線】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 区部の都市計画道路ネットワークの形成 ・ 主要ターミナル品川駅へのアクセス機能の向上 <p>【東西連絡道路】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大規模開発に伴い発生する交通の処理 ・ 広域的な道路交通の改善
第二東西連絡道路	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東西の連絡性の強化
自由通路	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅東西の歩行者ネットワークの整備 ・ 周辺開発により発生集中する歩行者の処理 ・ 鉄道利用者の利便性の向上 ・ 朝夕ピーク時の混雑の緩和
駅前広場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域アクセス拠点にふさわしい交通結節点づくり ・ 西側の玄関・顔となるシンボル性の高い空間の創出 ・ 駅周辺の開発に伴う交通需要への対応
JR・京急品川駅再編整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ JRと京急の乗換え利便性の向上 ・ JR車両基地跡地街区開発に伴う駅施設の再編 ・ 交通結節機能の強化
京急品川第1(八ツ山橋)踏切 他2箇所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 踏切除却による利便性や安全性の確保

○ 検討課題

	課 題
周辺開発計画等が周辺交通に与える影響	<ul style="list-style-type: none"> 開発ボリュームの適切な設定と整備時期への考慮が必要
環状4号線・東西連絡道路	<ul style="list-style-type: none"> 交通量推計を踏まえた適切な車線数の設定が必要 道路構造
第二東西連絡道路	<ul style="list-style-type: none"> 道路構造
自由通路	<ul style="list-style-type: none"> 既存自由通路では、利用者の増加に対応できないため、開発計画を踏まえた施設規模の検討と、新たな自由通路整備の検討が必要
駅前広場	<ul style="list-style-type: none"> 開発計画、リニア導入を考慮した広場利用者数による必要規模算出等が必要 広場規模の不足への対応策
JR・京急品川駅再編整備	<ul style="list-style-type: none"> 乗り継ぎ利便等に配慮した駅再編整備案の作成 整備計画案の妥当性
京急品川第1(八ツ山橋)踏切他2箇所の踏切除却	<ul style="list-style-type: none"> 品川駅再編整備案を踏まえた立体化の構造、事業手法

○ 検討事項

	本業務での検討事項
周辺開発計画等が周辺交通に与える影響の検証	<ul style="list-style-type: none"> 開発ボリュームの再整理 段階整備を考慮したケース設定
環状4号線・東西連絡道路の検討	<ul style="list-style-type: none"> ケース毎の交通量推計、交差点需要率による車線数の検討 橋梁部を含む道路構造の比較検討
第二東西連絡道路	<ul style="list-style-type: none"> 導入位置及び道路構造の検討
自由通路の検討	<ul style="list-style-type: none"> 現況交通量調査結果等を反映させた歩行者交通量推計による必要施設規模の検討 自由通路の配置検討、歩行者ネットワークの検討
駅前広場の検討	<ul style="list-style-type: none"> 現況交通量調査結果を反映させた将来必要規模等の検討 広場規模確保のための対応策の検討
JR・京急品川駅再編整備の検討	<ul style="list-style-type: none"> 再編整備案の妥当性の検討 事業手法の検討
京急品川第(1八ツ山橋)踏切他2箇所等の検討	<ul style="list-style-type: none"> 立体化の構造検討 事業手法の検討